

要 望 書

平成19年11月15日

北総線運賃問題対策協議会

成田新高速鉄道の開通にあたっての要望書

貴社におかれましては、常日頃より沿線住民の利便性の向上にご尽力をいただいていることに対しまして、心より感謝申し上げます。

さて、都心と成田空港を30分台で結ぶ成田新高速鉄道については、平成22年4月の開通を目指して、現在、用地買収や北総線内の施設改良、印旛沼橋梁等の整備が進められております。

この成田新高速鉄道の開通に関しては、千葉ニュータウン地域にとっても成田空港と直接結ばれることにより、利便性が向上し、地域のポテンシャルが高まることが期待され、千葉ニュータウン地域を抱える当市村にとりましても、財政支援を行うなど早期完成を強く望んでいるところです。

しかしながら、一方では、成田新高速鉄道が通過する北総線については、線路敷設等にかかる膨大な累積債務に伴う高運賃問題が大きな行政課題となっており、スカイライナー、特急の線路使用料はどうなるのか、また、成田新高速鉄道の運賃がどのように設定され、北総線運賃との関係がどのようになるのかなどについて、行政はもとより沿線住民の関心も高まっております。

このような状況の中、平成19年3月に貴社が策定いたしました中期経営計画「F4プラン」によりますと、今年度から成田新高速鉄道の開業に向け、鉄道施設の整備、運行ダイヤ、運賃の設定等について諸準備を実施すると記載さ

れておりました。

つきましては、貴社が成田新高速鉄道の線路使用料や運賃等を設定するにあたっては、利用者の公平性の確保のため、次の事項についてご検討されたくここに要望いたします。

1. 北総鉄道の経営の安定化を図るために、成田新高速鉄道の開業にあたっては、北総鉄道への線路使用料の適正な設定について配慮していただきたい。
1. 成田新高速鉄道線と北総線が二重運賃にならないようまた、特急などに関して北総線区間のみ、他区間と別体系の運賃設定にならないよう、千葉ニュータウン沿線住民に配慮した運賃体系としていただきたい。また、併せて北総線の運賃が値下げされるよう配慮していただきたい。

平成19年11月15日

京成電鉄株式会社

代表取締役社長 花田 力 様

北総線運賃問題対策協議会

会長 印西市長 山崎 山洋

北総線運賃問題対策協議会

団 体 名	職 名	氏 名	備 考
印 西 市	市 長 議 長	山崎 山洋 出山 國雄	会 長
白 井 市	市 長 議 長	中村 教彰 石田 信昭	副会長
印 旛 村	村 長 議 長	佐藤 榮一 小川 勇	監 事
本 埜 村	村 長 議 長	小川 利彦 大塚 輝男	監 事